



※第97・98図の参考文献 「岐阜県編纂『岐阜県史 通史編 現代』昭和48年発行」を基本とし、他に次の文献を参考にした。 岐阜県地方課編『岐阜県町村合併史』昭和36年発行 岩井正尾編纂『宮村史』宮村教育委員会昭和48年発行 宮村史編纂委員会編 大野郡久々野町史編纂委員会編『久々野町史 全』大野郡久々野町夜宿昭和32年発行 久々野町史発行委員会編『久々野町史 近代』平成22年発行 金山町史編纂委員会編『金山町史』岐阜県益田郡金山町昭和50年発行 新上枝村史編纂委員会編『上枝村史』平成12年発行 朝日村史編纂委員会編『朝日村史 全』朝日村夜宿昭和31年発行 岐阜県吉城郡穂川村教育会『新大典記念 穂川村誌』大正6年発行 国府町教育委員会『職士魂本 飛騨の里

(第98図)

(65) 合併沿革図 (第97、98図)

年代 明治8年(1875)～平成17年(2005)

寸法 A3版縦

所蔵 高山市教育委員会

この図は明治8年から平成17年までにおける飛騨地域の、各市町村合併の経緯を表わした図である。第97図には明治8年から平成17年までにおける市、町、村の区域がどう変わったかを、第98図には合併・編入をした村々の構成と、それぞれの合併年代を表わした。

第97図で、高山地域については高山町が灘、大名田町、上枝村、大八賀村と合併した年月日を記した。また、久々野地域、一之宮地域、萩原の山之口村は複雑で、明治8年から明治16年までは位山村(橙色)であったが、分村して山之口村は川西村(萩原町)に併合されてゆく。また、金山町については、昭和30年に郡上郡、武儀郡の一部が益田郡に入り、益田郡下原村と合併して金山町になっている。上室、丹生川、国府、高根、小坂、河合、白川、荘川の各村は明治8年以後に村域の変動がないので白色地にしている。

※掲載されている情報(文章、写真など)は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。